

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 岡山ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 貝畑学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	医療総合学科 診療情報管理士コース	夜・通信	2,085	240	
	医療総合学科 医療秘書コース	夜・通信	855	160	
	ファッション学科 ファッションデザインコース	夜・通信	1,605	160	
	ファッション学科 ファッションクリエイターコース	夜・通信	1,515	160	
	ブライダル学科 ブライダルコース	夜・通信	1,140	160	
	総合ビジネス学科 営業スペシャリストコース	夜・通信	360	160	
	コンピュータ学科 CG・Web・アニメコース	夜・通信	1,665	160	
文化教養 専門課程	愛犬学科 愛犬美容・看護コース	夜・通信	1,170	160	
	国際ビジネス学科 英語コミュニケーションコース	夜・通信	810	160	
衛生 専門課程	製菓学科 パティシエコース	夜・通信	1,650	160	
	調理学科 和食調理コース	夜・通信	390	80	
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科 介護福祉コース	夜・通信	750	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

URL : <https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 岡山ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 貝畑学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

URL : <https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p04>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人 役員	2019. 6. 1～2023. 5. 31	組織運営体制の チェック機能
非常勤	株式会社 役員	2019. 6. 1～2023. 5. 31	組織運営体制の チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 岡山ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 貝畑学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>各業界で就職後に必要となる知識・技術および職業人として必要なビジネスマナーやコミュニケーション能力などの人間力を育むための授業科目を設定し、資格取得はもちろん、取った資格を活かせる実践力を身に付ける実践教育を目標とし、従来の授業方法に加え、学生達が主体的に授業に取り組めるアクティブラーニングや授業理解度向上を目的としたICT・eラーニングなどの積極的な活用に取り組んでいる。</p> <p>●シラバスの作成過程 本校では学科毎に業界の方からのヒアリングや担当教員、講師によるミーティングを行い、目指す人材目標・取得目標資格を決定しカリキュラムを作成。 各科目担当教員が目標達成に向けたシラバス(授業計画書)を作成する。</p> <p>●シラバス作成時期および公表時期 3月初旬の全体講師会で当該年度の重点目標や各学科方針を発表し、3月中にシラバスを作成、ホームページにて公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>本校は、卒業認定、成績評価、単位認定等について、次のとおり定めている。 学園の教育理念・教育目標を実現するために「卒業認定・称号付与の方針」を定め、その方針に基づき「教育課程の編成および実施方針」を定め、その内容にふさわしい授業科目を開設している。単位修得認定および成績評価については、学則に方針を定め、科目ごとにシラバスを作成し公表している。 これら方針に基づき、厳格かつ適正な学修成果の評価および単位認定を行っている。</p> <p>1. 「卒業認定・称号付与の方針(ディプロマポリシー)」 2. 「教育課程の編成および実施に関する方針(カリキュラムポリシー)」 3. 「シラバス」について URL: https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。

●評価方法

評定	点数 (100点満点)	到達目標	判定
A	80点～100点	優秀	合格
B	70点～79点	良好	
C	60点～69点	最低の合格	
D	59点以下	合格不可	不合格

●客観的な指標の算出方法

履修科目の成績を点数化（100点満点）し、全科目の平均点を算出。その結果に基づき、成績の分布状況を把握している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

「卒業認定・称号付与の方針（ディプロマポリシー）」

本校は、設置する学科に関連する業界で活躍できる専門知識や技術を習得し、良識ある社会人として必要な素養を身に付け、国や地域社会、国際社会の発展に貢献できる心豊かな職業人の養成を目標としています。

以下の能力を身に付け、所定の年限在学し、かつ所定の授業科目および単位を修得した学生の卒業を認定し、専門士の称号を付与する。

- ①多様な時代の多様な変化に対応でき、実践で活かせる専門知識や技術を習得している。
- ②幅広い視野と良識を持ち、心豊かな人間性を形成している。
- ③自らの職業能力を証明する資格を取得している。
- ④職業人としてのビジネスマナー、コミュニケーション能力を身に付けている。
- ⑤他国の様々な文化を理解できる国際人である。
- ⑥職業人として生涯自分の支えとなるチャレンジする姿勢と諦めない姿勢を身に付けている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 岡山ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 貝畑学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
収支計算書又は損益計算書	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
財産目録	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
事業報告書	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
監事による監査報告（書）	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療総合学科 診療情報管理士コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,985 単位時間/単位	1,275 単位時間 /単位	1,095 単位時間 /単位	150 単位時間 /単位	465 単位時間 /単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		12人	0人	2人	13人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>医療業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、医療機関等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。</p> <p>①近年めまぐるしく変化し、進化し続ける医療関連業界に対応するため、医療業関係者と連携をとって講義、演習、実習などの授業科目を開設する。</p> <p>②専門分野における実践的な知識・技術・技能について、医療機関とも組織的に連携し授業科目を開設する。</p> <p>③診療情報管理士資格をはじめとする、各種資格取得について、講義形式の授業だけでなく、ICTやeラーニングなども活用し、学生の授業理解度向上と資格合格をサポートする。</p> <p>④主体的な授業への参加と学生の授業理解度向上のため、アクティブラーニングやICT、eラーニングなどを積極的に活用し、授業を展開する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>

<p>(概要)</p> <p>下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。</p> <p>(1) 卒業認定 修得(合格)科目の時間数合計が3年間で2,400時間以上</p> <p>(2) 進級認定 修得(合格)科目の時間数合計が原則800時間以上</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)																			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他																
6人 (100%)	0人 (0%)	5人 (83.3%)	1人 (16.7%)																
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>各種医療機関(病院、診療所など)</p>																			
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など</p>																			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療情報管理士 認定試験</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーション 検定試験</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>電子カルテ実務 検定試験</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別について</p> <p>①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他(民間検定など)</p>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	診療情報管理士 認定試験	③	6人	3人	プレゼンテーション 検定試験	③	6人	4人	電子カルテ実務 検定試験	③	6人	4人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
診療情報管理士 認定試験	③	6人	3人																
プレゼンテーション 検定試験	③	6人	4人																
電子カルテ実務 検定試験	③	6人	4人																
<p>(備考) (任意記載事項)</p>																			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	2人	13.3%

(中途退学の主な理由)

病気等による出席率および単位不足のため

(中退防止・中退者支援のための取組)

- ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化
- ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ
- ・退学者防止セミナーの受講
- ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	医療総合学科 医療秘書コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,995 単位時間/単位	690 単位時間 /単位	690 単位時間 /単位	135 単位時間 /単位	単位時間 /単位	480 単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		45人	0人	2人	7人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>医療業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、医療機関等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。</p> <p>①近年めまぐるしく変化し、進化し続ける医療関連業界に対応するため、医療業関係者と連携をとって講義、演習、実習などの授業科目を開設する。</p> <p>②専門分野における実践的な知識・技術・技能について、医療機関とも組織的に連携し授業科目を開設する。</p> <p>③診療情報管理士資格をはじめとする、各種資格取得について、講義形式の授業だけでなく、ICTやeラーニングなども活用し、学生の授業理解度向上と資格合格をサポートする。</p> <p>④主体的な授業への参加と学生の授業理解度向上のため、アクティブラーニングやICT、eラーニングなどを積極的に活用し、授業を展開する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。</p> <p>(1) 卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上</p> <p>(2) 進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則800時間以上</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)																
(主な就職、業界等) 各種医療機関（病院、診療所、調剤薬局、歯科医院など）																			
(就職指導内容) キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など																			
(主な学修成果（資格・検定等））																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療報酬請求事務 能力認定試験</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>医療事務技能 審査試験</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>秘書技能検定</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	診療報酬請求事務 能力認定試験	③	7人	5人	医療事務技能 審査試験	③	22人	22人	秘書技能検定	③	22人	19人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
診療報酬請求事務 能力認定試験	③	7人	5人																
医療事務技能 審査試験	③	22人	22人																
秘書技能検定	③	22人	19人																
<p>※種別について</p> <p>①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他（民間検定など）</p>																			
(備考) (任意記載事項)																			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	6人	10.7%
(中途退学の主な理由) 病気等による出席率および単位不足、進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	ファッション学科 ファッションデザインコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,890 単位時間/単位	330 単位時間 /単位	1,350 単位時間 /単位	210 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	25人	0人	2人	13人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) アパレル業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、アパレル関連企業等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①地元アパレル企業と連携した実践型の授業科目を開設。専門分野の講義、演習、実習授業を通じて、現場に直結する実践カリキュラムで即戦力を育成する。 ②地元アパレル企業での見学や実習、インターンシップなどで現場を経験し、実践力を養う。 ③アパレル業界の各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況 (小テスト・課題・レポートの成績も含む) ・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定 (60点) 以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 (1) 卒業認定 修得 (合格) 科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上 (2) 進級認定 修得 (合格) 科目の時間数合計が原則800時間以上
学修支援等
(概要) ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	1人 (4.3%)	20人 (86.9%)	2人 (8.7%)

(主な就職、業界等) アパレル関連企業、ショップなど			
(就職指導内容) キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
ジーンズソムリエ	③	10人	2人
パターンメイキング技術検定	③	24人	13人
色彩検定	③	23人	13人
<p>※種別について</p> <p>①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他 (民間検定など)</p> <p>■コンテスト入賞実績</p> <p>2018年度 技能五輪全国大会 洋裁部門 銅賞 (全国第3位) 入賞</p>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	5人	12.5%
(中途退学の主な理由) 病気等による出席率および単位不足、家庭事情、進路変更などのため		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ちあげ 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	ファッション学科 ファッションクリエイターコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,860 単位時間/単位	735 単位時間 /単位	975 単位時間 /単位	150 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		34人	0人	2人	13人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>アパレル業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、アパレル関連企業等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。</p> <p>①地元アパレル企業と連携した実践型の授業科目を開設。専門分野の講義、演習、実習授業を通じて、現場に直結する実践カリキュラムで即戦力を育成する。</p> <p>②地元アパレル企業での見学や実習、インターンシップなどで現場を経験し、実践力を養う。</p> <p>③アパレル業界の各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。</p> <p>（1）卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上</p> <p>（2）進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則800時間以上</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) アパレル関連企業、ショップなど																
(就職指導内容) キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職支援など																
(主な学修成果 (資格・検定等)) <table border="1" data-bbox="470 488 1158 741"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファッション販売 検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>ファッション ビジネス検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラー 検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別について ①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定など)</p>	資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ファッション販売 検定	③	12人	12人	ファッション ビジネス検定	③	12人	7人	パーソナルカラー 検定	③	12人	11人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数													
ファッション販売 検定	③	12人	12人													
ファッション ビジネス検定	③	12人	7人													
パーソナルカラー 検定	③	12人	11人													
(備考) (任意記載事項)																

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	5人	15.2%
(中途退学の主な理由) 病気や学習意欲不足等による出席率・単位不足、進路変更などのため		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	ブライダル学科 ブライダルコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,935 単位時間/単位	585 単位時間 /単位	1,110 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	210 単位時間 /単位	210 単位時間 /単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	55人	0人	2人	10人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>ブライダル業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、ブライダル関連企業等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。</p> <p>①講義、演習、実習を学年や時期に合わせて効果的に実施し、ブライダル関連企業と連携したカリキュラムで現場に直結する実践型の授業を展開。実践力を養い、即戦力を目指す。</p> <p>②地元ブライダル関連施設および企業の見学や実習、沖縄リゾートウェディング研修、卒業年次に実施するMDOウェディングなど、本物を経験できる環境で実践力を養う。</p> <p>③徹底したマナー教育、人間力教育で接遇力を含めたコミュニケーションスキルとホスピタリティーマインドを養う。</p> <p>④実践力、現場力を身に付けるため、各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。</p> <p>(1) 卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上</p> <p>(2) 進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則800時間以上</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ 放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他																
39人 (100%)	0人 (0%)	38人 (97.4%)	1人 (2.6%)																
(主な就職、業界等) ブライダル業界(結婚式場・貸衣装店・ホテルなど)、一般企業																			
(就職指導内容) キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など																			
(主な学修成果(資格・検定等))																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブライダル コーディネーター検定</td> <td>②</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>ブライダル プランナー</td> <td>③</td> <td>37人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>ドレス コーディネーター</td> <td>③</td> <td>33人</td> <td>33人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ブライダル コーディネーター検定	②	15人	15人	ブライダル プランナー	③	37人	37人	ドレス コーディネーター	③	33人	33人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
ブライダル コーディネーター検定	②	15人	15人																
ブライダル プランナー	③	37人	37人																
ドレス コーディネーター	③	33人	33人																
※種別について ①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定など)																			
(備考) (任意記載事項)																			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	2人	2.9%
(中途退学の主な理由) 学校生活への不適合・進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> 個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ 退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合ビジネス学科 営業スペシャリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,055 単位時間/単位	1,380 単位時間 /単位	555 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40		16人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 担当教員と講師によるミーティングを行い、幅広い企業等で活躍できるカリキュラムで授業科目を開設している。</p> <p>①講義、演習、実習を学年や時期に合わせて効果的に実施し、百貨店と連携したカリキュラムで現場でのインターンシップを行い実践型の授業を展開。実践力を養い、即戦力を目指す。</p> <p>②地元企業の見学や企業研究研修、隔年で実施する関西研修で、都市部の商業施設見学や市場調査など本物を経験できる環境で実践力を養う。</p> <p>③徹底したマナー指導と人間力教育で接遇力を含めたコミュニケーションスキルを養う。</p> <p>④実践力、現場力を身に付けるため、他の学科の販売会で販売戦略と広告方法など授業なかで学び身に付ける機会を設けている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。</p> <p>（1）卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上</p> <p>（2）進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則800時間以上</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)																
(主な就職、業界等) 営業職・総合職（自動車ディーラー、電気設備、金融機関、家電量販店など）																			
(就職指導内容) キャリアプログラム・性格診断、就職適性検査、学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など																			
(主な学修成果（資格・検定等））																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リテールマーケティング（販売士）検定</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">9人</td> <td style="text-align: center;">9人</td> </tr> <tr> <td>小売業計数能力検定</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">9人</td> <td style="text-align: center;">9人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス実務マナー検定</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">9人</td> <td style="text-align: center;">8人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	リテールマーケティング（販売士）検定	③	9人	9人	小売業計数能力検定	③	9人	9人	ビジネス実務マナー検定	③	9人	8人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
リテールマーケティング（販売士）検定	③	9人	9人																
小売業計数能力検定	③	9人	9人																
ビジネス実務マナー検定	③	9人	8人																
<p>※種別について</p> <p>①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他（民間検定など）</p>																			
(備考) (任意記載事項)																			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務 専門課程	コンピュータ学科 CG・Web・アニメコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼間	1,875 単位時間/単位	540 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,335 単位時間 /単位
		単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	41人	0人	5人	1人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>講師が独自に開発した教材を使用。「聞く・見る・実行する」を繰り返す授業を展開。</p> <p>1) 実技系</p> <p>1年前期までに基本的なソフト操作を集中して習得。3カ月程度で検定試験上位級の受験レベルに到達することを目標としている。</p> <p>様々な業種の会社から依頼を受けた制作物を仕上げることで、クライアントとの打ち合せ(コミュニケーション)やタイムスケジュール(進行管理)を実地で学ぶ。最終的には印刷物として入稿出来るデータに仕上げ、実際に発注・納品まで行う。</p> <p>2) 講義系</p> <p>デザインの理論・理屈を明確に理解させ、それぞれの作品でそれを生かし説明をすることができるようにする。</p> <p>また、基本的事項を理解させ検定合格を目指す。</p> <p>3) マナー講義系</p> <p>これからの60年以上あるであろう人生を、日本人として生きやすくするための社会的マナーや冠婚葬祭の知識などを実践形式で学び身につける。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況(小テスト・課題・レポートの成績も含む)・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定(60点)以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。</p> <p>(1) 卒業認定</p> <p>修得(合格)科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上</p> <p>(2) 進級認定</p> <p>修得(合格)科目の時間数合計が原則800時間以上</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	1人 (8.3%)	10人 (83.3%)	1人 (8.3%)
(主な就職、業界等) プログラム業界、イラスト業界、各種業界販売・営業関連			
(就職指導内容) 個人個人の就職希望職種・業種への就職を指導。 特別授業として各業界の関係者を招聘し、業界説明はもちろん、講義後の個人面談を経て就職を決めることもある。			
(主な学修成果(資格・検定等)) Photoshop クリエイター能力認定試験 Illustrator クリエイター能力認定試験 CG・MM検定 色彩検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	11人	26.8%
(中途退学の主な理由) 病気等による出席率および単位不足、家庭事情、進路変更などのため		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	文化教養 専門課程	愛犬学科 愛犬美容・看護コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,130 単位時間/単位	450 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1,590 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	90 単位時間 /単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	72人	0人	2人	4人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>ペット業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、ペット関連企業等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。</p> <p>①ペット関連企業と連携した実践型の授業科目を開設。専門分野の講義、演習、実習授業を通じて、現場に直結する実践カリキュラムで即戦力を育成する。</p> <p>②ペット関連企業での見学や実習、インターンシップなどで現場を経験し、実践力を養う。</p> <p>③ペット業界の各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。</p> <p>（1）卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上</p> <p>（2）進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則800時間以上</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	24人 (92.3%)	2人 (7.7%)

(主な就職、業界等) ペット業界（トリミングサロン、動物病院、ペットショップ）、一般企業など			
(就職指導内容) キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など			
(主な学修成果（資格・検定等））			
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
愛玩動物飼養管理士1級	③	23人	18人
トリマーライセンス1級	③	6人	4人
トリマーライセンス2級	③	26人	24人
<p>※種別について</p> <p>①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他（民間検定など）</p>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	5人	7.8%
(中途退学の主な理由) 病気等による出席率および単位不足、家庭事情、進路変更などのため		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	文化教養 専門課程	国際ビジネス学科 英語コミュニケーションコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,890 単位時間/単位	780 単位時間 /単位	1,110 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	22人	1人	1人	7人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 英語科目を中心に、中国語、海外ビジネスの知識を学ぶカリキュラムで授業科目を開設している。
①英語科目は、英語4技能以外に、ビジネス英語、プレゼンテーション、メディア英語など、仕事につながるように実践的な授業を展開する。また、TOEICテストや実用英語検定の対策も行う。
②英語を仕事に活かせるように、海外と関わる業界について講義する。さらに、知識を深めたい学生対象に、2年次に貿易実務を開講する。
③学生の進路や興味に応じて、2年次は中国語と貿易実務のいずれかを選択させる。
④英語のスピーキング、ライティングや、中国語の授業は、生きた表現を学べるように、ネイティブ講師が担当している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況(小テスト・課題・レポートの成績も含む)・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定(60点)以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。
(1) 卒業認定 修得(合格)科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上
(2) 進級認定 修得(合格)科目の時間数合計が原則800時間以上
学修支援等
(概要) ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

9人 (100%)	0人 (0%)	5人 (55.6%)	4人 (44.4%)																
(主な就職、業界等) ホテル、小売店、一般企業																			
(就職指導内容) キャリアプログラム・学生面談・求人紹介・面接指導・個別就職活動支援など																			
(主な学修成果 (資格・検定等))																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実用英語検定</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>中国語検定</td> <td>③</td> <td>13人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>貿易実務検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	実用英語検定	③	19人	9人	中国語検定	③	13人	6人	貿易実務検定	③	12人	10人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
実用英語検定	③	19人	9人																
中国語検定	③	13人	6人																
貿易実務検定	③	12人	10人																
<p>※種別について</p> <p>①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他 (民間検定など)</p>																			
(備考) (任意記載事項)																			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	3人	14.3%
(中途退学の主な理由) 病気等による出席率および単位不足、家庭事情、進路変更などのため		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	衛生 専門課程	製菓学科 パティシエコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,190 単位時間/単位	540 単位時間 /単位	330 単位時間 /単位	1,230 単位時間 /単位	単位時間 /単位	90 単位時間 /単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	35人	0人	3人	10人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 担当教員と講師によるミーティングを行い、製菓業界と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。
①講義、実技、実習を効果的に実施し、製菓業界と連携したカリキュラムで現場に直結する実践型の授業を展開。新人に必要な基礎技術の習得を目指す。 ②校外実習やインターンシップなどで実際の現場を経験し、実践力を養う。 ③実践力、現場力を身に付けるため、各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況(小テスト・課題・レポートの成績も含む)・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定(60点)以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 (1)卒業認定 修得(合格)科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上 (2)進級認定 修得(合格)科目の時間数合計が原則800時間以上
学修支援等
(概要) ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	26人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 菓子業界（洋菓子店、カフェ、パン屋、工場）																											
(就職指導内容) 履歴書の書き方や面接指導、訪問・電話訓練を行い学生の志望する分野を把握し求人情報を提供すると同時に個別指導を行う。																											
(主な学修成果（資格・検定等））																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製菓衛生師</td> <td>②</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>サービス接客技能検定3級</td> <td>③</td> <td>26人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>サービス接客技能検定2級</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>色彩検定3級</td> <td>③</td> <td>26人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>パティスリーラッピング3級</td> <td>③</td> <td>26人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	製菓衛生師	②	3人	3人	サービス接客技能検定3級	③	26人	21人	サービス接客技能検定2級	③	21人	16人	色彩検定3級	③	26人	21人	パティスリーラッピング3級	③	26人	26人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
製菓衛生師	②	3人	3人																								
サービス接客技能検定3級	③	26人	21人																								
サービス接客技能検定2級	③	21人	16人																								
色彩検定3級	③	26人	21人																								
パティスリーラッピング3級	③	26人	26人																								
※種別について ①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）																											
(備考)（任意記載事項）																											

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	2人	4.5%
(中途退学の主な理由) 病気等による出席率および単位不足、家庭事情、進路変更などのため		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生 専門課程	調理学科 和食調理コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	1,020 単位時間/単位	570 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	420 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		14人	0人	2人	6人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 担当教員と講師によるミーティングを行い、飲食業界と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。
①講義、実技、実習を効果的に実施し、飲食業界と連携したカリキュラムで現場に直結する実践型の授業を展開。新人に必要な基礎技術の習得を目指す。 ②校外実習やインターンシップなどで実際の現場を経験し、実践力を養う。 ③実践力、現場力を身に付けるため、各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況(小テスト・課題・レポートの成績も含む)・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定(60点)以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 下記の条件を満たす学生について卒業を認定する。 (1) 卒業認定 修得(合格)科目の時間数合計が800時間以上
学修支援等
(概要) ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	1人 (5.6%)	15人 (83.3%)	2人 (11.1%)
(主な就職、業界等) 飲食店、ホテル、旅館、病院、受託給食会社など			

(就職指導内容) キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
調理師	①	18人	18人
技術考査	③	18人	18人
食育インストラクター	③	18人	18人
<p>※種別について</p> <p>①国家資格・検定のうち、終了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、終了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他 (民間検定など)</p>			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・ 社会福祉	教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科 介護福祉コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,271 単位時間/単位	1,186 単位時間 /単位	629 単位時間 /単位	456 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	24人	16人	4人	0人	4人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>介護福祉教育の到達目標をベースに、専門職としての知識・技術・コミュニケーション力を講義や演習で学び、介護実習で学んだことを統合して身につける。そして、将来はリーダーとして活躍することまで考えたカリキュラムになっている。</p> <p>①介護福祉士としての専門的知識・技術を習得する。</p> <p>②多様な介護職のリーダー役を担う人材として将来にわたるキャリア形成の為の基礎力を身につける。</p> <p>③介護福祉実践における科学的な問題解決能力を習得する。</p> <p>④高い倫理観と感性豊かな人間性を持ち、コミュニケーションを用いて信頼関係を築く方法を身につける</p> <p>⑤人権尊重を理解し、尊厳の保持や利用者本位の個別ケアを考えた援助ができる力を身につける</p> <p>⑥多職種連携を理解し、チームケアができる力を身につける</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。</p> <p>(1) 卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が2年間で1,700時間以上</p> <p>(2) 進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則800時間以上</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、行政の福祉職、法務省の矯正施設、児童養護施設、病院等			
(就職指導内容) 本人の希望を聞きながら、情報の提供、情報収集の方法、書類の準備、施設との連絡・調整をしながら進めている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家試験には2名合格、初級障がい者スポーツ指導員資格、文書作成検定3級資格取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・個別カウンセリングや学生面談、保護者面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の立ち上げ 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療総合学科	150,000 円	400,000 円	270,000 円	実習費、教育充実費
ファッション学科				
ブライダル学科				
総合ビジネス学科				
コンピュータ学科				
愛犬学科				
国際ビジネス学科				
介護福祉学科				
製菓学科			430,000 円	
調理学科				
修学支援 (任意記載事項)				
学力試験特待生制度	特待生 A:30 万円免除・特待生 B:20 万円免除・特待生 C:10 万円免除			
検定・部活特待生制度	特待生 C:10 万円免除			
貝畑学園経済支援制度	授業料全額・半額免除			

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL : https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 毎年、年度末に行っている学内自己評価委員で作成している自己評価を基に、企業等の学校関係者委員と情報を共有し、点検・評価を行い、不備な事項についての改善、疑問点の解消を行うことで、自己評価の客観性・透明性を高めていく。 また、関連企業・病院、教育関係者や卒業生といった学校に関係する人たちに、学校を理解してもらう情報を発信し、学校だけでなく、互いに協力しながら学生のことを考え、それぞれの立場・視点に立って意見を出し合うことで、よりよい学校づくりを行っていく。 学校が設定する評価項目 教育理念・目的・育成人材等、学校運営、教育活動、教育成果、学生支援、教育環境、学生募集と受け入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献 学校と学校関係者間で情報を共有し、不備な点等の改善、疑問点の解消を行った結果を、情報公開することにより、関連企業・病院、教育関係者や卒業生といった学校に関係する人たちに学校を理解してもらい、学校と互いに協力しながら学生のことを考え、それぞれの立場・視点に立って意見を出し合うことで、よりよい学校づくりを行っていく。 評価結果については、校長および各部長の責任のもと、現状の課題や問題点について、改善を行っていく。学生指導においては、指導記録をきちんと残し、担当教員だけでなく、全体での情報共有を行う。職業体験 (インターンシップ) については、各コースで目的の再確認を行い、時期・日数等について検討を行う。ボランティア清掃活動等は、

<p>学校全体、各コースで今以上の参加を促す、また、参加機会を与えるなど後押しの出来る方法を検討していく。</p> <p>評価の高い項目については、学校の強みとして把握し広報活動等で有効に利用していく。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社アコービューティック 代表取締役社長	2018. 5. 17～2020. 3. 31	企業等委員
株式会社ティアラ 代表取締役社長	2018. 5. 2～2020. 3. 31	企業等委員
パティスリー ポンム・ベール オーナーシェフ	2018. 6. 7～2020. 3. 31	企業等委員
河合内科西口クリニック 院長	2018. 5. 9～2020. 3. 31	企業等委員
株式会社カイトックホールディングス 人事部ゼネラルマネージャー	2018. 5. 1～2020. 3. 31	企業等委員
ペットショップ chouchou 店長	2017. 5. 29～2019. 3. 31	企業等委員
山陽事務機株式会社 営業課長	2018. 5. 7～2020. 3. 31	卒業生
創志学園高等学校 校長	2017. 7. 7～2019. 3. 31	校長
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>URL : https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05</p>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>URL : https://www.obcnet.ac.jp</p>
